



は 励んで光る
た 愉しんで光る
つ つながって光る



文責:富永 千晶

人権教室

12/1(金)5校時、体育館にて人権擁護委員のみなさんによる「人権教室」を行いました。はじめに命を大切にしたいという人権擁護委員さんの話がありました。どんなに辛いことがあっても自分で自分の命を絶つ選択はしてほしくない、私も強くそう思います。

次にDVD「ぼくのきもち きみのきもち」を視聴しました。相手の立場になって考えることを学びました。

最後に人権啓発のイメージキャラクターである「まもるくん」「あゆみちゃん」が登場しました。子どもたちは大はしゃぎでした。一人一人ミニサイズのマスコットを持ち帰っています。これを見て、人権教室を思い出し、思いやりのある行動をとれるといいですね。

私も、朝の登校指導の際に、「まもるくん」か「あゆみちゃん」のマスコットを手にして挨拶運動を展開していきます！



【マスコット登場に大興奮】

高齢者疑似体験(11/30)

3年生は、総合的な学習の時間で福祉を学んでいます。前は「車いす体験」を、今回は社会福祉協議会、黒川町の敬愛園、小島病院の方々に協力していただいて「高齢者疑似体験」をしました。

誰でも年を重ねると、耳が聞こえづらい、目が見えにくい、関節の曲げ伸ばしが難しいなど身体が変化します。子どもたちは、実際に器具を装着して、その感覚を体感しました。

これも相手の立場になって考えることにつながりますよね。

私も子どもたちの様子を見ながら、もっと両親に優しくしないといけないな…と反省しました。



地震→原子力防災避難訓練

12/5（火）避難訓練を実施しました。今回は、昼休み運動場でマラソンタイム中に地震が発生し、その後、玄海原子力発電所の事故が起きたことを想定して行いました。

残念なことに、おしゃべりをしていたり、放送を最後まで聞いていなかったり、鼻や口をふさいでいなかったりしている子どもがいました。自分の命だけでなく他の人の命まで危険にさらすことになるので、普段から次の行動を身に付けさせたいと感じました。

【命を守る行動】

- ① 正しい情報を得る。（放送をしっかりと聞き取る）
- ② 情報をもとに判断し、避難する。
 - ・ 地震の場合は、揺れが収まるまで安全な場所で身を伏せる。
 - ・ 原子力発電所事故の場合は、ハンカチなどで口や鼻を押さえて屋内に入る。（屋内に入る際には、上着をぬぐ。手や顔を洗う。換気扇を止め、窓を閉める。）

学校には、安定ヨウ素剤を保管しています。原子力災害の際は、甲状腺被ばくを防ぐために指示があれば、子どもたちに1錠服用させることになります。

玄海原子力発電所から30キロ圏内に位置する波多津町では、常に危機意識をもっておこなってはなりません。

昨年同様、子どもたちには、右のパンフレットを紹介しました。（ご家庭にも届いています。）

このパンフレットには、

- ① いかにして自分の命を守るか
- ② 安定ヨウ素剤をどのようにして入手するのか
- ③ どの道を通して避難するのか
などが詳しく記されています。

波多津町は、地区によって避難所が異なります。家族が離れ離れにならないように、あらかじめ確認しておくことが大切です。

もしも、このパンフレットが見当たらない場合は、伊万里市ホームページにあります。

[「伊万里市原子力防災のてびき」](http://city.imari.saga.jp)について/伊万里市
city.imari.saga.jp この機会に家族で話題にしてみてください。

子どもたちには、それが**宿題だよ**と話しています。

